

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	沖縄県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	与勝事務組合立 与勝中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	6	7	1	21	43
生徒数	244	240	266	5	755	

研究の概要

1. 研究主題

生徒一人一人の基礎学力の定着を図る教育実践

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

- ・1・2年生 数学

他教科に比べ系統性が強く、習熟度に差が生じやすい教科であることと、早い時期に導入した方が効果的と考えるため。

- ・全学年 英語

中学校から始まる教科ではあるが個人差が大きく出やすい教科である。初めから苦手意識を抱かせないよう個人差を早い段階で解消するため。

- ・2・3年生 選択国語

すべての学習の基礎となる漢字力、語彙力、読解力の向上を図るため

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

テーマ

個に応じた指導方法・指導体制の工夫改善

研究の見通し

フロンティア事業の下地づくり

フロンティア事業に関する理論研修と先進校の視察、資料収集

実態の把握と分析

研究体制の確立

フロンティア事業の研究実践、各教科の検証授業・授業研究会の実施

研究の内容・方法

数学科や選択国語、選択英語における習熟度別指導、少人数指導の実践

英語科におけるT・T指導の実践

他教科での習熟度別グループ学習の実践

発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発に向けた取

り組み

学力の評価を生かした指導の工夫

平成16年度

テーマ

個に応じた指導のための教材の開発

研究の見通し

フロンティア事業のまとめ

フロンティア事業1年次をふまえての研究実践、各教科の検証授業・授業研究会の実施

学校ホームページでの発信

研究の内容・方法

各教科の発展的・補充的な学習の教材作成とホームページへの掲載

数学科における習熟度別指導、少人数指導の継続実践

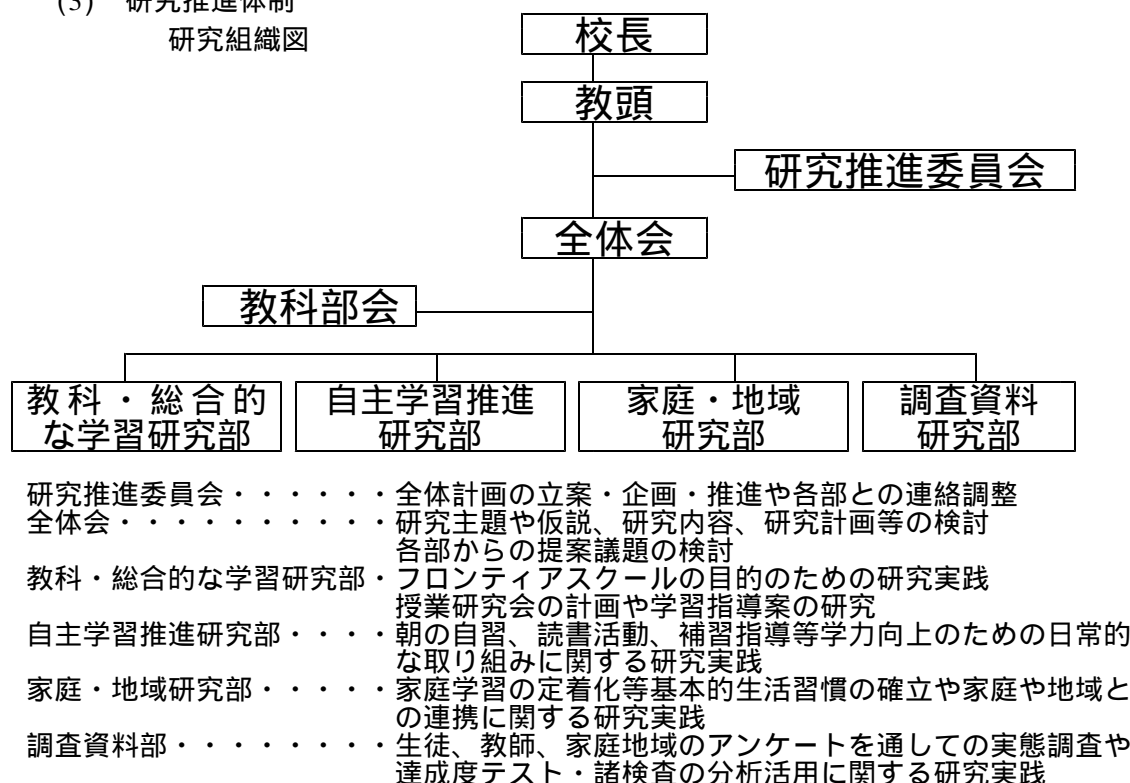
英語科における指導法の工夫改善

選択教科での補充的・発展的学習の継続実践(実践教科の拡大)

学力の評価を生かした指導の工夫改善

(3) 研究推進体制

研究組織図



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

数学科での習熟度別編制による少人数指導や英語科でのT・T指導の実践で、生徒一人一人の学習状況が的確に把握でき、個に応じた指導につながった。そのため基礎・基本の定着が図られ、学習意欲の向上が見られた。(第二学年を対象とした標準学力検査の国語数学英語3教科総合偏差値が41.6から41.8へ向上した。)

選択教科で発展的な学習や補足的な学習のための教材を準備し指導に当たったことで主体的に学習する生徒が増えてきた。

数学、英語を中心とした取り組みの中で、他教科においても個に応じた指導方法や指導体制の工夫改善に取り組み、以下のような成果を上げた。

保健体育科 各単元で習熟の程度に応じたグループ別学習を実践することで、上位グループの生徒は自主的に発展的な学習に挑戦し、教師は下位グループへの支援を充実させることができた。また総合体育の授業で地域人材を積極的に活用した講演会や講習会を実践したことで、健康安全面への興味関心を高めることができた。

「学習・読書・生活実態調査」を行ったことで、本校の課題が明確になり改善のための方策がとられた。また昨年度に行われた基礎学力検査の分析考察を行ったことで、達成率の低い内容を重点的に指導でき基礎学力の向上につながった。

各教科で検証授業、授業研究会を実施したことで指導法の工夫改善につながった。

家庭訪問や三者面談で本校の研究実践について保護者へ説明を行ったり、基本的な生活習慣の確立に向けての協力依頼をすることで家庭との連携が図られた。

学力向上のための日常的な取り組み(読書活動、朝の自習、補習指導等)を実践する中で学習意欲の高まりが見られた。

2. 今後の課題

確かな学力の更なる向上

個に応じた指導のための発展的・補足的な学習の教材の開発・作成と他校への普及(ホームページへの掲載)

評価と指導の一体化を通しての授業の充実

本校の実態にあった習熟度別指導の効果的な在り方

理論研修の充実、研究組織・研究内容の見直し

本校の研究実践を紹介したリーフレットの作成と家庭地域との更なる連携
授業や個別指導の際の指導方法や指導内容の策定に役立てるための個人カルテの
作成と活用についての研究
学力の積み上げを図るための小中連携の在り方

学力把握のための学校としての取組

- (1) 勝連町合同実力テスト
目的：どの学年でどこの領域、内容につまずきがあるかを調査しその結果を分析して日々の学習指導に反映させる。
実施内容：国語・数学・英語の基礎的・基本的事項の客観テスト
時期：5月、10月実施
- (2) 学習・読書・生活実態調査
目的：本校の学習・読書・生活面の実態を把握し、課題を明確にし改善を図る。
実施内容：各教科の学習の様子や家庭での学習量、読書量、テレビ視聴時間等の調査
時期：7月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・フロンティア事業実践研究発表会（与勝事務組合学推協実践発表会）
日時：平成16年2月19日（木）
場所：本校各教室・体育館
対象：保護者・与勝事務組合教育委員会職員・近隣小中学校職員
目的：一年間の学力向上フロンティア事業の取組や成果等を保護者や教育関係者に報告し、指導助言をいただく機会とする。
- ・島尻地区市町村指導主事協議会学校訪問
日時：平成15年11月28日（金）
場所：本校各教室・会議室
対象：島尻地区十市町村教育委員会指導主事・与勝事務組合教育委員会指導主事・勝連町教育委員会指導主事・本校職員（校長・教頭・教務主任・研究主任）
目的：本校における学力向上フロンティア事業の取組やこれまでの成果を普及する。
- ・ホームページ作成・・・平成16年2月予定

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無